

ATFの交換は
必要ですか？

ATFの交換は必要ですか？

ATFやCVTFは基本的に**メンテナンスフリーなので交換不要です**。長年使用していて、ガソリンスタンド等で「**真っ黒ですよ**、交換をお勧めします」と言われると交換したくなりがちですが、**新油に交換すると**トランスミッションのオイルパン等にたまったスラッジが剥がれて**油圧回路が目詰まりし**、故障してしまう原因になります。なぜスラッジが剥がれるかというと、油に含まれる添加剤の「**清浄剤**」が新油状態では**しっかり効いてしまう**ためです（洗剤が洗濯物の汚れを落とす作用と同じ）。このことを知ると、**工場の油の交換は大丈夫かな？**と思われる方もいらっしゃると思いますが、**同様の不具合が発生**したこともありますのでご参考になしてください。

* 過去の経緯

ATの普及に伴い、オイルの劣化物の一種である**スラッジ**（ヘドロ状の物質）が市場および耐久試験後で問題になることが過去しばしばあった。この発生原因としてはAT内に発生する**金属等の摩耗粉**によるものおよび使用される**ATF（ATオイル）の劣化**が主な原因で、特にオイルパンにべっとリスラッジが溜まっていることが観察された（**金属粉はオイルパン内の磁石で回収**）。ただし、それでATの機能が直ちに損なわれるほどの状態になるのは稀で、市場で**シビアコンディション**の使われ方（走り屋等）**以外はメンテナンスフリー**。しかしエンジン油の交換感覚および**ディーラー&ガソリンスタンドにおける交換の勧め**により→色が黒っぽくなっているとか変速ショック、燃費悪化等があると言われ交換を勧められ、交換してしばらくすると**AT変速不能等になるケースが発生**した。

☆不具合発生原因

- ①**新油交換により**油中の添加剤の一つの清浄剤の活性度が高い状態に変化したので**スラッジが剥がれ**、オイルパンの近くにある油回路が詰まり、**変速不能になる**。
- ②**交換したATFが純正油と大きく異なる性能**であったため。個車のATは純正油で変速特性や耐久性をチューニングしているので、それ以外のATFに交換すると**変速ショックや耐久不足による焼き付きが発生**する場合がある。

→L/Uスリップ制御機能が追加されて以降は、純正以外のATFに交換すると**燃費も悪化する**場合がある。

→**CVT、HVも純正以外のオイルを入れると不具合が発生する可能性がある**ので
基本交換しない→交換しなければいけない場合は最低限純正油にして、上記の
オイルスラッジの問題もあるので、交換後はしばらく様子見をしたほうが良い。
→オイルを1万km～2万km毎に頻度良く純正油に変えている場合は問題は発生
しにくいですが、このコストに見合う効果は？